



本館完成予想図

本館改築工事開始

いよいよ当院の本館改築工事が始まりました。現在は本館機能を既設館に移転する工事を行っています。全工事が終了するのは平成27年12月末を予定しています。工事施工は「KK熊谷組」が行っています。病院側と協議する中で騒音・振動が少ない工法を取り入れたり、駐車場等にも配慮し、皆様へのご迷惑をなるべく少なくするようにして工事を進めて参りますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

＜今後の予定＞（工事は土曜日、祝日も行います。）

10月迄
11月・12月
平成27年1月～10月
11月・12月

本館機能を既設館に移転
本館解体
新本館建築
既設館の改修

■病院理念

優しく、温かい、確かな医療を提供し、紀南の環境文化に根ざした地域連携の充実に努めます

■基本方針

1. サービス精神(KINAN)の徹底

——(K)気持ちをこめて、(I)いつまでも、(N)納得のいく、(A)安心で安全な、
(N)任務の遂行

2. 患者さんの権利を尊重し、わかりやすい説明を励行

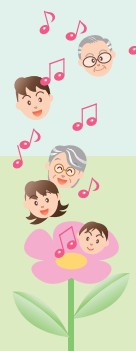
3. 生活の質の向上(QOL: quality of life)を中心とした診療と援助

4. 行政や医師会と協同した地域医療の向上

(救急医療・高齢者医療・健診・地域連携・福祉など)

5. 職員研修の強化と遠隔地医療教育の必須化

6. 職場環境の改善と健全な病院経営に基づく医療環境の提供



副院長就任のご挨拶

副院長 仲 尾 貢 二

4月1日に副院長の辞令を頂きました仲尾貢二と申します。

まずは、簡単に自己紹介をいたします。

昭和38年卯年の生まれ、「少年老い易く学成り難し」を実感している昨今です。小中高は四日市で過ごしました。三重大学医学部卒業後、脳神経外科に入局して、20代後半の3年半は当時の山田赤十字病院に勤務しました。とても忙しく「脳外科漬け」の毎日を送りました。平成7年紀南病院に脳神経外科が新設された際に、縁あって当地へ赴任いたしました。その流れで老健きなん苑での高齢者医療、リハビリの経験も積むことができました。平成19年、残念ながら脳神経外科は常勤医撤退との大学の方針に従って、私も阿田和から津に居を移し伊勢総合病院に勤務しました。従いまして、現在は2回目の紀南病院赴任ということになります。2回目は自分の意志で単身で参りました。初めて訪れた時からこの土地の空気感に癒しを感じていたからです。その空気感とは、5月の早朝、湿りを帯びた空気とともに漂うみかんの花の香りや、熊野古道の深い木立の陰影の中に、確かに感じ取ることができるのです。伊勢から再度南下するところなど、いにしえの熊野詣の巡礼のようで運命を感じています。

ここからが本題です。現在、当院の建て替え工事が進められていますが、その目玉のひとつに「海に見えるリハビリ室」というのがあります。来年度から新たに、現在ある療養病棟を転換し、「回復期リハビリ病棟」を開設することになりました。高齢社会の中、脳卒中、骨折などの治療後にリハビリテーションが必要な方が増加しています。現在は、急性期治療後の回復期リハビリは他院へお願いしているのが実情ですが、来年4月からは当院で対応可能となります。急性期～回復期～在宅あるいは慢性期リハビリ介護（きなん苑等）といった形でつながることになります。地域完結型の医療・リハビリ・介護に一役買う体制ができると確信しています。現在、志高いスタッフとともに鋭意準備中です。

本館改築を好機到来と考えて、職員の皆さんとともに前進して行きたいと考えています。よろしくお願いします。





「紀南病院・健診センター」を開設

平成26年4月より健康診断、ドック部門を独立させ、「紀南病院健診センター」を立ち上げました。場所は、外来棟3階で、受検いただく方に、なるべく快適な環境で検査・診察を受けていただけるように配慮し、待合室も受検者独自のスペースを確保しました。疾病の早期発見、治療に貢献できるよう努めてまいります。健診・ドックのお申込み・お問い合わせは、健診センター（内線324）まで、よろしくお願い申し上げます。



健診センター
専用待合室



「地域連携室・医療相談室」の紹介

当院の地域連携室・医療相談室が行っている主な業務は、三つに分けられます。①相談援助業務、②診療予約業務、③訪問看護、です。

- 1 相談援助業務とは、患者さんの退院援助や、各種医療・介護制度の利用の援助、地域のケアマネジャーや施設職員との情報交換・相談など、患者さんの生活全般を見ながら、必要な援助を提供します。
- 2 診療予約業務とは、当院へかかりたい患者さんの受診予約(特に初診時)が主になりますが、当院から他の医療機関への受診の予約をすることも多くなっています。
- 3 訪問看護は、看護師が患者さんの自宅へ訪問して看護ケアを提供し、療養生活を支援しています。



職員数は、①相談援助業務、②診療予約業務、に5名（看護師1、医療ソーシャルワーカー3、事務1）、③訪問看護に看護師3名です。

当院は平成27年4月より、回復期リハビリ病床を40床開設予定です。その受け入れ窓口や、退院援助の役割も、期待されているところです。

七夕コンサート開催



ハーブ演奏・平千佐子さん

7月7日（月）、毎年恒例となっております当院ハートフル委員会主催の『七夕コンサート』が開催されました。これは、入院されている方に七夕の雰囲気を楽しんでいただこうと、毎年行っているものです。

まず、紀南病院コーラス部から「夏の思い出」「この広い野原いっぱい」「見上げてごらん夜の星を」の3曲を披露。そ

して、ゲストの平千佐子さんによりまずハーブ演奏「ふるさと」「浜辺の歌」「みかんの花咲く丘」「いつも何度でも」「川の流れのように」「カササギ」が披露されました。コーラス部の美しいハーモニー、ハーブの美しい音色で観客を魅了しました。最後にコーラス部が中心となり、観客と一緒に「たなばたさま」を合唱し、コンサートを締めくくりました。



紀南病院コーラス部

がん患者の会「^{なご}和みの会」を開催

6月7日（日）に14名が参加して『和みの会』が開催されました。

今回は「貯筋体操」のインストラクターである逢野実恵子さんをお招きし、全員で体操を元気よく行いました。逢野さんの体験談と何事にも前向きな姿勢に、参加者からは共感や「刺激を受けた」という声が聞かれました。

『和みの会』では月1回、おしゃべりサロンも開催されています。次回は、7月30日（水）外来棟5階サナルームで10時からです。気さくな仲間が集まっていますので是非お立ち寄りください。



研修医だより 田植え体験

5月18日（日）、紀和町丸山千枚田にて田植え体験をしました。

これは、紀南病院に研修に来ている研修医に研修の一環として毎年参加しているもので、田植えを通して人とふれあい、地域の生活文化を学ぶことを目的としています。

今年は、三重大学1名、東京大学1名、市立四日市病院1名の合計3名の研修医が参加。丸山千枚田保存会の皆さんの指導を受けながら田植えを体験しました。

研修医からは「思っていたより大変でしたが、景色がいいですし気持ちよく田植えができて楽しかったです」といった感想がありました。

『リウマチ・膠原病専門外来』を開設

当紀南病院では、6月から毎月第4水曜日（9月から第2・第4水曜日に増枠）に、「リウマチ・膠原病専門外来」を開設しました。紹介状と予約が必要となりますので、紀南病院地域連携室までお問い合わせ下さい。

＜リウマチ・膠原病専門外来＞ 紹介予約制

毎月 第4水曜日 午前中（9月から第2・第4水曜日に増枠）

担当医師 ： 高見 勇一郎医師

予約・問合先 ： 地域連携室 TEL 05979-2-1333（代）

＜担当医：高見勇一郎医師から地域の皆様へ＞

この度、リウマチ・膠原病外来を担当します高見勇一郎です。

膠原病とは全身の臓器に炎症が起こり、うまく機能出来なくなる病気の総称です。本来異物を認識・排除するための免疫系が、自分自身の体を過剰攻撃してしまう自己免疫疾患です。あらゆる臓器に炎症を起こすため、症状も発熱・関節痛・倦怠感・皮膚や眼の変化等々実に多彩です。そのため様々な診療科を経由し、診断までに長い時間を要することも少なくありません。治療は副腎皮質ステロイドを中心とする免疫抑制剤です。都合よく病的な過剰免疫だけを抑える事ができればよいのですが、正常な免疫も抑えてしまうため感染症等の重篤な副作用が問題になります。

リウマチ・膠原病診療では免疫抑制のバランスを考慮した診療が不可欠です。

また関節リウマチに於いては、近年MTX・生物学的製剤の登場により革命的な進歩を達成しました。骨・軟骨破壊を防ぎ、時には再生を促進し、その結果、機能障害や変形を抑えることが可能となり、痛みや腫れを改善するだけでなく、関節リウマチを治癒させる事を目標とする時代になったのです。しかし現在はまだ破壊されてしまった関節を元に戻すことは出来ません。

そのため最も関節破壊が進む発症2年以内の早期（可能ならば3-6か月以内）に診断し、治療する事が大切です。関節リウマチは100人に1人のありふれた病気ですが、専門医数は大都市圏以外では絶対的に不足しています。また1人の専門医が診療できる患者数も限られます。骨破壊が最も進行する高活動性の初期に積極的に治療し、十分なコントロールが得られた後は、かかりつけ医と連携しつつ良い状態を維持する事が、地域に於けるリウマチ診療の理想と考えます。

また希少な膠原病疾患では大阪等の大病院に通院される方も多いようです。特殊検査等では大病院と協力しながらも、住み慣れた地域で可能な限り問題解決することは、多くの膠原病患者さんの願いでしょう。

紀南地域でのよりよいリウマチ・膠原病診療のため、専門医として微力ながら地域医療連携に貢献したいと思っております。





紀南病院外来診療担当表

平成26年7月1日現在

区 分		月	火	水	木	金
内 科	初 診	高司 智史医長	中川 十夢医師	玉置 英俊医長	伊藤 基敏医長	森 将之医師 東良久医師(月1回第1)
	再 診	中井桂司副院長(午後) 高司智史医長(午後)	中井 桂司副院長		中井 桂司副院長	中井 桂司副院長
		小林 文人医長	小林 文人医長	小林 文人医長	小林 文人医長	
			中川十夢医師(午後)	玉置英俊医長(午後)	伊藤基敏医長(午後)	森 将之医師(午後)
					磯部亮太医師(午前)	
				リウマチ・膠原病専門 外来(8月まで月1回・ 第4。9月から月2回・ 第2・第4) 高見勇一郎医師		・糖尿病専門外来(月1回) 住田 安弘医師 ・肝臓病専門外来(月1回) 杉本 龍亮医師 ・循環器専門外来(月1回) 山門 徹医師
外 科	1 診	乳腺専門外来(第1月曜日) 小川 朋子医師	須崎 真院長			須崎 真院長
	2 診	坂口 充弘医師	小出 泰平医長	小出 泰平医長	小出 泰平医長	坂口 充弘医師
整 形 外 科	初 診	内藤 陽平医師	植村 剛医長	内藤 陽平医師	植村 剛医長	担当医師
	再 診	植村 剛医長	内藤 陽平医師	植村 剛医長	内藤 陽平医師	
脳神経外科	1 診	仲尾貢二副院長	仲尾貢二副院長	栃尾 廣医師	仲尾貢二副院長	脳ドック専門外来 仲尾貢二副院長
眼 科	1 診			久保 朗子医師	久保 朗子医師	久保 朗子医師
	2 診		日吉 敦寿医長	日吉 敦寿医長	日吉 敦寿医長	日吉 敦寿医長
産 婦 人 科	1 診	千田 時弘医師	關 義長医長	千田 時弘医師	關 義長医長	千田 時弘医師
	2 診	關 義長医長	千田 時弘医師	關 義長医長	千田 時弘医師	關 義長医長
小 児 科	1 診	間宮 範人医長	間宮 範人医長	間宮 範人医長	間宮 範人医長	間宮 範人医長
		小児発達外来 (第1月曜日 予約要) 成田 正明医師				
皮 膚 科	1 診				小出真紀医師(午後予約制)	
神 経 内 科	1 診					成田 有吾医師 木田 博隆医師 谷口 彰医師 松浦 慶太医師 もの忘れ外来(月1回) 佐藤 正之医師
泌 尿 器 科	1 診			佐々木 豪医師		
耳 鼻 咽 喉 科	1 診				松浦 徹医師(午前)	
歯 科 口 腔 外 科	1 診	渡邊 由裕医長	渡邊 由裕医長	渡邊 由裕医長	渡邊 由裕医長	渡邊 由裕医長
健診センター	ドック検診	關 めぐみ医師	關 めぐみ医師	關 めぐみ医師	關 めぐみ医師	奥野正孝内科総括 (關 めぐみ医師)
備 考	* 受付時間は午前7時30分～午前11時30分までとなっております。ただし、急患については時間外でも受付します。 なお、当院を初めて受診される患者様及び、診察券をお持ちでない患者様の受付時間は、午前8時からとなります。 * 内科は完全予約制の為、予約が必要です。紹介状があれば電話予約が可能です。健康診断で異常を指摘された場合 も、結果票が紹介状の代わりになりますので、予約可能です(地域連携室までお電話下さい)。 * 整形外科の受付時間は午前7時30分～11時までとなります。 * 神経内科は診療枠に限りがあるため、初診ご希望の際は、必ず事前に電話でご相談下さい(地域連携室までお電話下 さい)。完全予約制です。 * 眼科は毎週月曜日は休診となります。 ・小児(中学生まで)の検査は午後の予約の為、予約が必要となります。(眼科外来までお電話ください。) ・コンタクトレンズの取り扱いはありません。 * 泌尿器科は完全予約制の為、予約が必要です。紹介状があれば電話予約が可能です(地域連携室までお電話下さい)。 * 皮膚科は完全予約制の為、予約が必要です。電話予約が可能です(平日の、午後2時～5時までの間に地域連携室まで お電話下さい)。					



着任医師紹介

①前任地 ②趣味 ③抱負



内科医師
いとう もととし
伊藤 基敏 医長
(6月1日着任)

- ①市立池田病院
- ②ドライブ
- ③この地域の医療に少しでも貢献できればと思っています。よろしくお願いします。



内科医師
たかし さとし
高司 智史 医長
(7月1日着任)

- ①たかじ内科クリニック
- ②社寺めぐり
- ③H9年～H10年の1年9ヶ月、紀南病院でお世話になりました。16年たって、またここに戻ってくることができ、これからの生活を楽しみにしています。

入院患者様の照会、面会について

平成26年6月より、お電話での患者さんの入院の有無、部屋番号の照会は、個人情報保護のため原則お答えできない対応とさせていただきます。

面会時間は午後1時～午後8時(小児科は午後2時～午後4時、療養病棟は午前9時～午後7時)で、患者照会窓口は、平日は外来棟2階総合受付、夜間休日は夜間休日窓口となっております。原則、各ナースステーションでは照会できません。面会時間をお守りいただきますよう御協力お願い致します。